

## 甲斐駒ヶ岳 黒戸尾根

日程：2010年7月17日(土)～18日(日)

メンバー：L白土(記録)

7/17(土)竹宇神社 5:00～10:10 七丈小屋  
7/18(日)七丈小屋 3:33～5:00 甲斐駒ヶ岳  
6:00～6:50 七丈小屋 7:55～11:50 竹宇神社

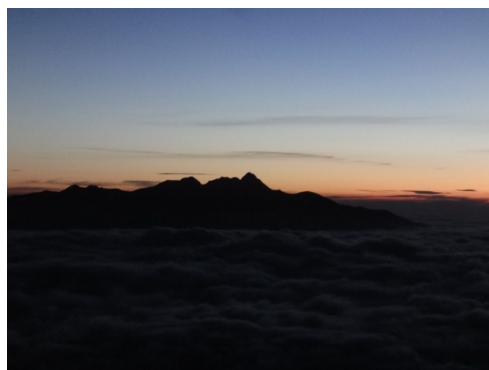
1/25000 地形図：甲斐駒ヶ岳、長坂上条

黒戸尾根は近場で人が少ない尾根なので気に入っている。今回で5度目だが、さすがに3連休だけあって登山者は今までで一番多かった。天気にも恵まれて山頂からは360度の展望が味わえた。

7/17(土)

中央道の双葉S.A.で前泊するつもりだったが、深夜だというのに混みあっている。仕方なく竹宇神社の登山口駐車場まで移動して車中泊する。まだ暗いうちから周りの車の人たちが入山準備をしているので、起こされてしまった。仕方なくこちらまで起きて準備を始める。朝食のおにぎりを食べて出発。竹宇神社で安全登山をお祈りする。黒戸尾根は単調な尾根で急登もなく登りやすい。中盤に刃渡りというリッジがあるが、たいしたことはない。しかし標高差は2200mあり、ただひたすら登るだけだ。甲斐駒ヶ岳は信仰の対象でもあり、そこら中に祠や剣がま

つられていて、神々しい。登山者も少なく、静かな登山をしたいときや体カトレーニングにはもってこいのルートだ。一度だけ日帰りで登ったことがあるが、そのときはランニングシューズで山岳レースのトレーニングとして登った。今回はトレランの人を数多く見かけた。世はトレランブームだ。黒戸尾根をトレーニングの場と考えるのは必然という訳か。結局2回の休憩で七丈小屋に到着。まだ10:10だ。テン場には1張りあった。小屋番によると今日はテン場が混むので、端から詰めて張って欲しいということだ。指示に従い奥から2番目に張った。このテン場は平らで、整地用のトンボが置いてあり、巨大ペグも自由に使える。とても快適なテン場だ。テントの前でお茶を飲んだり、パイン缶を食べたりしてくつろいだ。そうこうしているうちにテントがどんどん増えて、すき間無く張られてしまった。今までで一番混んでいる。小屋も混んでそう。両サイドの単独の人とも話が弾んだ。夕食はご飯を炊いてカレーを食べた。



夜明けの八ヶ岳

7/18(日)

またしてもお隣さんの出発で起こされた。仕方なくこちらも起き、朝食を食べて山頂へ向かう。まだ暗いのでヘッドランプを付ける。8合目くらいで夜が明けてきた。天気は良く、雲海がとてもきれいだ。ハケ岳もよく見える。9合目あたりでお隣さんに追いついた。山頂では誰もいなく、360度の大パノラマだ。北岳もよく見える。斎藤さんと劔持さんがバットレスに登っているはずだ。健闘を祈る。お隣さんがコーヒーを淹れてくれたのでごちそうになる。テン場に戻るとテントはほとんど無かった。みんな北沢峠へ向かったみたいだ。のんびりテントを撤収して下山する。登り応えのある尾根だけあって下山も長い。下るに従い気温も上がってきた。竹宇神社で無事下山できたお礼をした。しかし下界は暑い。尾白川は川遊びを楽しむ家族連れであふれていた。

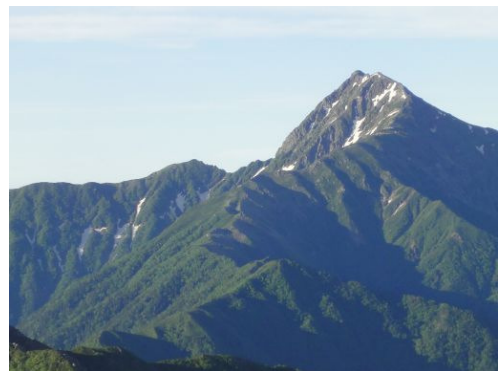
今回は今までで一番登山者が多かったが、他の山に比べれば少ない方だろう。天気にも恵まれ、気持ちいい山登りが楽しめて、体カトレーニングにもなった。



鳳凰三山と富士山



甲斐駒ヶ岳山頂



北岳もよく見える